



## “楽しい”から笑顔は広がる

川越U\_PLACE店(埼玉県)

マネージャー

前野 玲偉さん

まえのれい／マクドナルドで楽しく働く母や姉、双子の兄の姿を見て、川越U\_PLACE店で働き始める。AJCC(オール・ジャパン・クルー・コンテスト)※にも二度出場し、東日本地区本部戦まで勝ち上がった。

※全国のクルーがトレーニングで習得した技能を競いあうレコグニションプログラム

### トレーニングの信念

前野さんが働き始めると、お店が明るくなっていく。クルー一人ひとりの名前を呼んで、目を見てあいさつをするのはもちろん、特に印象的なのは仲間へのフィードバックとレコグニションだ。「キレイに作れたね!」「早くなったよ!」「ありがとう!」。ポジティブな言葉が常に店内にあふれ、クルーたちはどんどん笑顔になっていく。

「前野さんと一緒に働くと、とにかく楽しいんです。モチベーションが上がり、自然ともっと頑張りたいと思えます」。後輩の並木さんは、彼のトレーニングを絶賛する。

前野さんにはこの店舗で学び、築いてきたトレーニングの信念がある。「仕事を教えるのではなく、“仕事を楽しさを感じてもらう”ことがトレーニングだと思っています。楽しいからこそ、クルーは成長できるんです。そして、トレーニーが成長する姿を間近で見られることが、僕自身の仕事の楽しみでもあります」。



### 楽しめるお店に

今年の5月からはマネージャーに昇進し、店舗全体をリードする役割を担うようになった。お客様や仲間、店舗の状態を常に観察しながら、お店に関わる全員が笑顔になれる店舗運営を目指していく。「目標に向かって店舗の全員で協力し合って頑張れる。そんな一体感もマクドナルドで働く楽しさだと考えています。今後はマネージャーとして、多くのお客様に満足していただける楽しい店舗づくりに貢献していきたいですね」。みんなの“楽しい”を追いかけて続ける前野さんが、なんだか一番楽しそうだ。

※パンズにパティやソースを乗せラップで包むまでを担うポジション

### 親子で一緒に働くって、どうですか？

川越U\_PLACE店でお母さんと一緒に働いている前野玲偉さん。親子で同じお店で働くのって、実際どうなのでしょうか？

2人にそれぞれ、本音を聞いてみました！



マネージャー 前野 玲偉さん

母 前野 美喜さん

玲偉さん 最初は前野さんと呼んでいたのですが、僕も妹も同じお店で働いているので、今は「美喜さん」と呼んでいます。ただ、いまだに何て呼ぶのが正解なのか、分かりません（笑）。

美喜さん 難しいのですが、お店でも変わらず「玲偉」と呼んでしまっていますね。ただ、働いている時は息子というよりは、一人の仲間として接しています。

### 同じお店で一緒に働くことに少し抵抗はあったりしたのでしょうか？

玲偉さん 僕はまったくなかったです。家族全員仲が良いですし、元々母の働く姿がかつこよくて、楽しそうだったことがお店で働き始めたきっかけでもあるので。

美喜さん 私の方は一緒に働くことになってうれしかったのですが、本当に同じお店で良いのか確認はしました。4人子供がいて、4人とも一緒にマクドナルドで働きましたが、全員に事前に確認しています。

### 一緒に働いていて、よかったですありますか？

玲偉さん 美喜さんが働き始めると、お店全体がぱッと明るくなるところです。特にマネージャーになってからは、「そんなところまで目が届いているんだ！」と洞察力に驚くことがたくさんあります。

美喜さん 楽しい雰囲気を作れるところですね。まだマネージャーになつたばかりですが、早速クルー一人ひとりに目標を伝えたり、やる気を引き出す声かけができる、良いスタートが切れていると思います。

### 今後も一緒に働くいく上で、改めて伝えておきたいことはありますか？

玲偉さん これからも美喜さんの仕事から多くを学び、背中を追いかけていきたいです。厨房のオペレーションに関しては自信があるので、お互いの強みを生かして何か新しい挑戦ができるかもしれません。

美喜さん 息子ではありますが、店舗では誰にでも優しいマネージャーとして頼りにしています。これからも店舗のみんなと一緒にやりたいことにどんどん挑戦してください。

### 店長からひと言！

店長 宮里 こずえさん

2人に共通しているのは、働き始めた瞬間にお店の雰囲気を一気に明るくできるところです。玲偉さんは、クルーだけでなく、店長の私や先輩たちのことも自然と褒めてくれる生粋のモチベーターだと思っています。

美喜さんは、当店にいる40人以上のGEL(おもてなしリーダー)をまとめる頼れる存在で、お客様に笑顔になっていただく上でなくてはならない存在です。今後は同じマネージャーとして、お店をさらにポジティブに、楽しい場所にしていってもらいたいと思っています。

© McDonald's M